

見る・知る・感じる、

認知症ケアの知恵づくり

当事者の方の声から、地域で認知症を支える環境づくり、心通わすコミュニケーションまで、家族やアナタ自身が認知症になっても、生き生き暮らせるヒントを学ぶ一日です。

2019年 **8月28日(水)**
三重県総合文化センター内
三重県文化会館 レセプションルーム

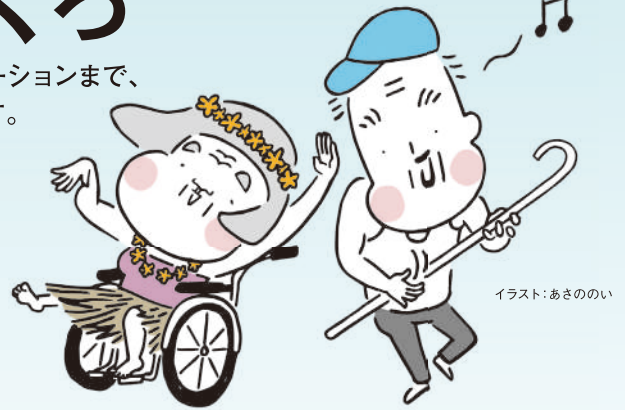


イラスト:あさのい

講演会① 10:30~12:00

認知症とともに生きる ～当事者の視点からみえる社会～

定員
80名

皆さんは認知症の方とどのように向き合っていますか？
認知症の方が抱えがちな不安や周囲の人との関わり方など、当事者の視点からお話しいただきます。認知症の方もそうでない方も、共に豊かに暮らすためにはどうしたらよいか、一緒に考えてみませんか。

講師: **渡辺康平**さん(西香川病院「オレンジカフェ」相談員)



昭和17年7月生まれ(77歳)香川県在住。高校卒業後、日本電信電話公社(現NTT)の機械課職員として勤務。長年、地域でボランティアや自治会の世話役など広く活躍。72歳で脳血管性認知症と診断される。2017年6月から三豊市立西香川病院の非常勤相談員として勤務している。院内の認知症カフェ(オレンジカフェ)に通う当事者の不安や悩みを聴き、自分らしく生きる姿をみせながら、認知症になってもよりよく生きるための支援を行っている。

※都合により内容が変更になる可能性があります。

講演会② 13:00~14:30

安心して老いるために ～認知症介護の現場から～

定員
80名

あなたは、どのように老いを生き、どう死にたいですか？
長寿社会は喜ばしいことですが、一方で不安も高まっています。認知症や高齢になっても安心して老いるためにどうしたらよいか一緒に考えましょう。

講師: **村瀬孝生**さん(宅老所よりあい 代表)



福岡県飯塚市出身。東北福祉大学卒業。1988年、特別養護老人ホーム生活指導員。1996年、第2宅老所よりあい所長、2013年、宅老所よりあい代表。2015年よりあいの森施設長。社会福祉法人福岡ひかり福祉会理事。「老いて障害を抱えても、住み慣れた街で自分らしく暮らす」を実践理念に高齢者の在宅生活支援に取り組んでいる。著書に「ぼけてもいいよ」「おばあちゃんがぼけた」「看取りケアの作法」等がある。

体験講座 15:00~17:00

定員
30名

介護する“わたし”、認知症の“わたし”～ものがたりで考える認知症ケア～

忙しい介護の中で「こうあるべき、こうなきゃ」とがんじがらめになっていませんか？
けれど、相手のものがたりに寄り添うことで、介護する側・される側を超えてお互いがもっとラクに過ごせるかも。俳優・介護福祉士の菅原直樹さんと、介護・演劇経験のある先輩「老いのプレーパーク」のメンバーと共に、演劇を通して、日々の生活の中から認知症の人との気持ちいいコミュニケーションの形を探る体験型の講座です。

講師: **菅原直樹**さん(「老いと演劇」OiBokkeShi主宰/俳優、介護福祉士)

平田オリザ氏が主宰する青年団に俳優として所属。2012年より、家族と共に岡山に移住。介護と演劇の相性の良さを実感し、地域における介護と演劇のあり方を模索している。OiBokkeShiの活動を追ったドキュメンタリー番組「よみちにひはくれない～若き「俳優介護士」の挑戦～」(岡山放送)が第24回FNSドキュメンタリー大賞で優秀賞を受賞、「演じて見る」(瀬戸内海放送)が平成30年日本民間放送連盟賞で優秀賞を受賞。OiBokkeShi×三重県文化会館による3年間の「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクトが進行中。2019年3月、平成30年度(第69回)芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



©菅原直樹

【老いのプレーパーク】2018年、公募で集まった老いや介護に関心のある三重県内の19歳～90歳(結成当時)の公募メンバーにより結成。顔ぶれは定年退職したシニア、理学療法士、介護真っ最中の主婦や親子で参加のメンバーまで様々。老いの明るい未来を模索し、菅原直樹氏指導のもと、2018年12月に発表公演「老いたら遊ぼう！老人ハイスクール」を上演。2019年9月にも発表公演を控える。

体験・相談コーナー 10:00~17:00

会場のレセプションルーム前では、介護や医療に関する悩み相談ができる「暮らしの保健室」や、ゲーム感覚で脳のリハビリができる「ブレインリハビリテーション」等の体験ブースも登場します。

主催: 三重県文化会館・三重県生涯学習センター・三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

協力: 社会福祉法人あけあい会、いなべ暮らしの保健室

後援: 三重県

助成: 一般財団法人地域創造、文化庁 文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



三重県文化会館 TEL059-233-1100(10:00~19:00)

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
休館日/毎週月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)

申込方法は裏面へ

参加希望のプログラムに○をお付けください

会館記入欄

FAX・窓口・郵送

| 講演会① | | ／ | 講演会② | | ／ | 体験講座 | |
|-------------|---|---|------------------------------------|--|---|------|--|
| フリガナ お名前 | 1 | | (代表者の) お電話番号 | | | | |
| | 2 | | FAXで お申込みの場合 (代表者の) FAX番号 | | | | |
| | 3 | | 郵送で お申込みの場合 (代表者の) ご住所 | | | | |

※参加希望のプログラムが異なる場合は、各人でお申し込みください。

キリトリ

見る・知る・感じる、 認知症ケアの知恵ぶくろ

全プログラム無料
事前申込制・先着順

2019年8月28日(水) 三重県文化会館
レセプションルーム

タイムテーブル

| | |
|-------------|---------|
| 10:00~10:30 | 講演会① 受付 |
| 10:30~12:00 | 講演会① |
| 12:30~13:00 | 講演会② 受付 |
| 13:00~14:30 | 講演会② |
| 14:30~15:00 | 体験講座 受付 |
| 15:00~17:00 | 体験講座 |

※昼食は各自でご用意ください。

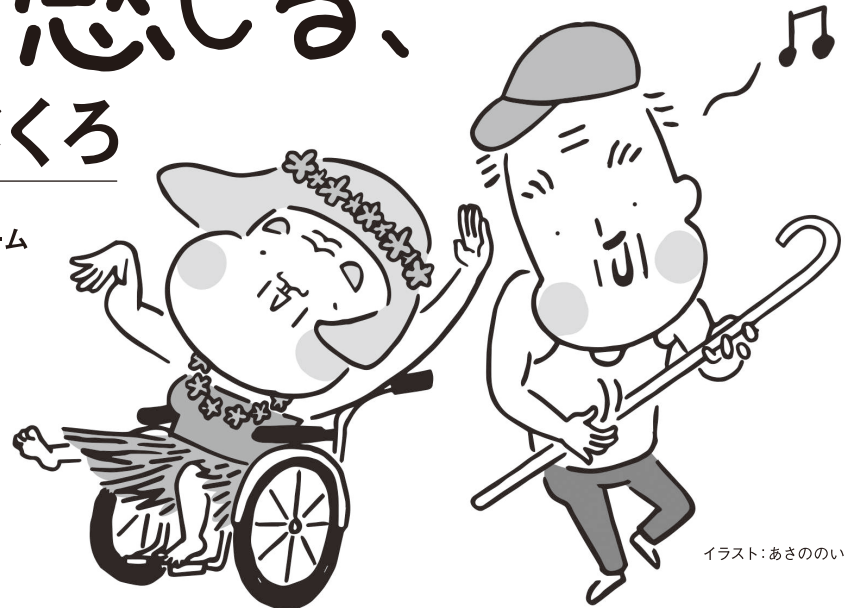


イラスト:あさのい

上記の申込用紙に必要事項をご記入の上、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

申込期間:6月22日(土)~8月18日(日)必着

※定員に達した場合は、その時点で受付を終了させていただきます。

FAX 059-233-1106

郵送 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
三重県文化会館
「見る・知る・感じる、認知症ケアの知恵ぶくろ」係宛

窓口 三重県文化会館 チケットカウンター

三重県文化会館WEBの申込フォームからも受け付けております。

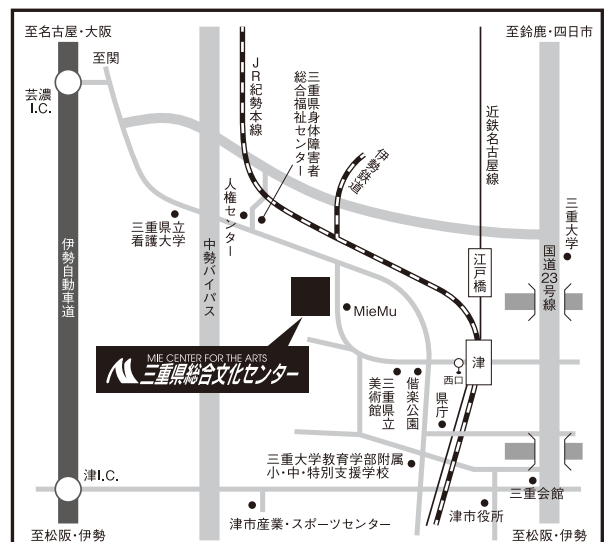
<https://www.center-mie.or.jp/bunka/invite>

お問い合わせ

三重県文化会館 TEL059-233-1100(10:00~19:00)

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地 休館日/毎週月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)

会場のご案内



- ・近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」西口より
徒歩約25分/三重交通バス約5分
- ・伊勢自動車道「津IC」より車で約10分/「芸濃IC」より車で約15分